

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日:22年4月16日

<p>テーマ名</p>	<p>ITC近畿会SaaS研究会</p>					
<p>届出組織等名称</p>	<p>ITC近畿会</p>					
<p>成果物公開URL</p>	<p><a href="http://itckinki.jp/filemgmt/index.php">http://itckinki.jp/filemgmt/index.php</a></p>					
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名)生田 勝 電話番号:090-8385-0917</p>	<p>(担当者氏名)生田 勝 電話番号:090-8385-0917 e-mail:enetik01@aurora.zaq.jp</p>				
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>研究会の究極の目的は、新しいコンピューティング方式として世界的に脚光を浴び始めたSaaS/クラウドについて研究し、ITコーディネータの顧客を正しく指導出来るようなノウハウを習得、収集することを目的として研究会を推進する。</p> <p>研究テーマを出来るだけ広範に捕らえたいとの考えから下記の3分科会に分かれて研究を進め、研究報告も分科会毎に纏める事にした。</p> <p>第一分科会 金、人、物に関して制約が大きい零細企業において、J-SaaSを含むSaaSがIT経営推進のキラーソリューションに成る為の課題とその解決策などについて研究しITコーディネータの果たす役割なども研究する。</p> <p>第二分科会 ITコーディネータの主要顧客である中小中堅企業を主対象として、SaaSを活用してIT経営を推進するする場合の必要ノウハウを研究し顧客を正しく指導できるノウハウを習得する。</p> <p>第三分科会 関西の中小ITベンダーがSaaS/クラウド時代に生き残る道を探る</p> <p>特定のベンダー、特定のソリューションに限定せず、先駆的な事例などを広く収集・習得に努める。 研究会内は交流会(顧客も含めたビジネスマッチングの会)によりノウハウ共有の場を設ける。</p>					
<p>成果物</p>	<p>ITC近畿会SaaS研究会2009年度活動報告書として下記内容を報告</p> <p>第一分科会 1. 対象企業の現状 2. あるべき姿への改革アプローチ 3. あるべき姿実現に向けた支援の検討 4. 中小企業向けIT経営推進組織『関西SaaSサポートセンター』</p> <p>第二分科会 1. 目的 2. 仮想企業の特徴 3. SaaSが提供する業務機能の評価 4. カスタマイズ容易性の評価 5. 導入&amp;運用の容易性評価 6. コストの評価 7. SLA・信頼性の評価 8. 自社セキュリティ・ポリシーとの整合性についての評価 9. サービスが停止するリスクの評価 10. 評価のまとめ</p> <p>第三分科会 1. クラウドコンピューティングの背景 2. 中小ITベンダーの現状 3. 中小ITベンダーの生きる道 ①SaaSプロバイダー ②SaaSソリューションプロバイダー 4. 留意事項 5. 参考資料</p>					
<p>* 青字は事務局で記入します。</p>		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="762 1792 1062 1823"> <p>事務局受付日</p> </td> <td data-bbox="1062 1792 1439 1823"> <p>2010/4/16</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="762 1823 1062 1843"> <p>案件番号</p> </td> <td data-bbox="1062 1823 1439 1843"> <p>S09007</p> </td> </tr> </table>	<p>事務局受付日</p>	<p>2010/4/16</p>	<p>案件番号</p>	<p>S09007</p>
<p>事務局受付日</p>	<p>2010/4/16</p>					
<p>案件番号</p>	<p>S09007</p>					